

職員一人ひとりがイノベーター DXで実現する未来の働き方 ～ローコードツールを活用した全庁的なDXの推進～ (福岡県北九州市)

取組概要

- ◆ 令和3年度にローコードツール(kintone)を導入し、令和5年度に全職員へ利用を拡大。
- ◆ ローコードツール等を活用して全庁的な業務改善や情報共有を推進し、令和7年度までに作業時間10万時間削減を目指す。
- ◆ 職員自らの内製により、ノンコア業務の作業時間の削減やコア業務へのシフトといった業務改革を実施。

取組の効果

令和5年度実績

- ◆年間削減作業時間：**40,355時間**
- ◆運用システム数：**307システム**

- ◆その他の効果(一部抜粋)
 - ①市民サービスの向上
 - ②経費の削減
 - ③事務処理ミスの防止
 - ④情報共有の促進
 - ⑤データ集計スピードの向上

創意・工夫した点

- ◆システムの内製化を増やすために
月に1回以上の研修や、独自の「kintone通信」などで広報を行うことで、kintoneに触れる機会を積極的に作った。
- ◆統一した管理をするために
「kintoneシステム管理台帳※kintoneアプリ」を作成し、内製化されたシステムの情報を一元管理した。

他団体へのアドバイス

- ◆効果の見える化
効果の見える化をすることで、取組が効果のあるものなのか、効率化が図れているのかが把握できます。
- ◆まずは導入部門が活用してみせる
他課に対してツールを紹介するには、導入部門が率先して活用していくことが重要です。北九州市の場合、導入当初に相談受付をシステム開発し、他課へ周知いたしました。

人口 914,620人 (R6.1.1現在)

担当 デジタル市役所推進室 DX推進課



DX変革リーダー向けハンズオン研修の様子